



## ■ロードマップのとりまとめ方針

### ②【整備優先度】の評価

整備優先度を示す指標は、行政・市民・事業者・社会の4つの視点で整理する。各指標をそれぞれ定性的に評価を行い、優先度を高・中・低の3段階で区分する。

表：整備優先度評価項目（案）

評価項目		評価内容
行政	喫緊課題	施設老朽化（耐震、設備）、UD対応、
	事業内容の熟度	計画内容の検討熟度、具体性
市民利用者	利用状況	既存施設の利用者数
	ニーズの多さ	既往アンケート調査結果から把握できる市民ニーズ
	市民要望／クレーム	市民からの要望多少、近隣クレーム有無など
事業者	集客力／求心力	定常利用者、イベント時には多くの集客を期待できるか
	収益性	事業者にとって多くの収益を期待できるか
	役割・リスクの明確性	事業進出に向けた役割・リスクが明確になっているか。事業者の判断材料が整っているか。
	サウンディング結果	参画意向の有無、意向社数
社会	地域貢献・波及効果	雇用創出、経済効果、地産地消が期待できるか

### ③【実施難易度】の評価

実施難易度を示す指標として、事業実施を妨げる要素がどの程度あるのかを定性・定量的に評価する。その評価に基づき、実施難易度を低・中・高の3段階で区分する。

表：実施難易度評価項目（案）

評価項目	評価内容
法規制	該当法令の有無、法手続きの必要性、難易度等
用地確保	用地取得必要面積、件数、要する期間等
資金確保・準備	公的予算・補助金活用是非 参入候補企業の資金確保状況等
周辺環境への影響	整備による周辺環境への影響 (自然環境、競合施設の有無、交通等)

### ④【各公園の段階整備シナリオの作成】

#### 1) 事業期間の整理

上記、実施難易度の項目の達成に必要な期間（例：法手続きに要する期間や用地取得期間）と実際の整備に要する期間を算定し、着手から完了までの事業期間を設定する。

#### 2) 着手時期の設定

各整備メニューの着手時期を設定する。具体的な設定は困難なため、「短期（概ね10年以内）」「中期（10～20年以内）」「長期（20年以上）」の3つに区分して設定する。

#### 3) 段階整備シナリオの作成

1)、2)の整理を踏まえて、各公園全体の段階整備シナリオを作成する。